

第2回入札説明書等に関する質問回答書

<別添資料3 施設設計要求書>

No	頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	質問事項	回答
14	4	第2	3		適用基準等	耐震性の判断は「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準同解説」(財)日本建築防災協会により、Isの目標値(0.7)および構造耐震指標Is値の算定($I_s = E_o / (F_{es} \cdot Z \cdot R_t)$ 、 $Z=0.9$)は学校建築構造設計指針によると考えて宜しいでしょうか。	ご質問のとおりです。
15	5	第2	4	(1)	施設規模	今回の改修工事の対象となっている工学部1号館と2号館は法規上別棟でしょうか？もしくは1棟でしょうか？また、工学部2号館と3号館は別棟でしょうか？1棟でしょうか？今回の1号館、2号館の改修工事のために、隣の3号館の既存遊及工事は発生しないと考えるよろしいでしょうか？発生する場合は大学側の費用負担と考えてよろしいでしょうか。ご指示ください。 同様に理学部の3号館と4号館についても同様の考え方でよろしいでしょうか？ご指示ください。	第1文及び第2文については、工学部1号館、2号館及び3号館はそれぞれ別棟で計画しています。 第3文については、工学部1、2号館改修で工学部3号館への遊及が発生する場合は大学側の負担と考えます。 第4文については、理学部3号館及び4号館は1棟で計画しています。なお、遊及が発生した場合については、工学部と同様とし、大学の負担と考えます。
16	6	第2	5	(4)	主要構造部補修工事	現地見学会にて実験室などを確認したところ、床貫通部が見受けられました。床貫通部跡については要求書では記述がありませんので、補修は本事業対象外と考えて宜しいでしょうか。	貫通部補修は本事業に含みます。施設設計要求書 資料1 補修要領 数量一覧表」をご参照下さい。
17	6	第2	5	(4)	主要構造部補修工事	現地見学会にて実験室などを確認したところ、床貫通部が見受けられました。補修が事業対象の場合につきましては、購入致しました既存図面からは貫通径、箇所数の想定が困難です。現況調査の上、確定した補修費を大学負担と考えて宜しいでしょうか。	貫通部補修は本事業に含みます。施設設計要求書 資料1 補修要領 数量一覧表」をご参照下さい。
18	8	第2	6	(5)	暖房	改修計画建物での使用は無いため…配管・機器を全て撤去する」と記載されていますが、配管・機器の撤去については各工事期間毎に撤去し、改修工事期間中の仮設配管対応等(例えば工学部1期工事中に2期工事部分の暖房対応)は不要と考えてよろしいですか。	改修計画建物での…配管・機器を全て撤去する」とは改修後を示しております。撤去は工事区分毎とし、期工事期間中、期工事範囲は使用しますので暖房は必要であり、仮設の対応を考慮して下さい。
19	9	第3			撤去・処分等	建具類は撤去・処分と明記されていますが、枠だけを残して新設のアルミサッシを取り付けるカバー工法を提案してもよろしいでしょうか？外壁の改修工事で一般的に採用される工法でメリットは・枠を撤去しないので、振動、騒音、粉塵等の発生が少なく、工事範囲以外(講義・実験)への影響が少ない。・枠材の廃棄物量が削減され、地球環境上も影響が少ない。・解体撤去の工程が少なくなる分、工事工程の短縮が可能。等が上げられます。また、工学部1号館の一部はすでにこの工法にてアルミサッシに改修されている部分のみづけられます。改修工事としては、メリットのある工法です。提案として盛り込んでよろしいでしょうか？ご指示ください。	今回は全面改修であり、既存サッシの状態によっては漏水等の問題が生じる可能性が高いため撤去工法とします。
20	11	第4	1	(1)	6)	既存床下ビットのコンクリートは均しコンクリート程度と考え厚さ50mm(無筋)と考えて宜しいでしょうか。	ご質問のとおりです。
21	15	第5	2	(11)		映像・音響設備に関して「施設の指定された室に映像・音響設備用の配管配線を行う」と記載されていますが、映像・音響設備のシステム構成図(配線図)が提示されていません。よって指定された各室にプロジェクター1台、スピーカー4台、マイクジャック1箇所を想定した配管配線を見込むこととし、それ以外は大学側の負担と考えて宜しいでしょうか。また、プロジェクター、スピーカー等の仕様及び設置方法が不明のため、天井や壁に設置する場合の補強は大学側の負担と考えて宜しいでしょうか。	前段は、ご理解のとおりです。 後段は、補強工事は本事業に含みます。
22	資料3				諸室仕様表	日常清掃の欄が空欄ということは、事業者側が清掃を行う必要が全くない解釈してよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
23	資料3				諸室仕様表	日常清掃の必要の無い室に関しては、その室の外壁や窓等の清掃に関しても、定期清掃も含め全く必要無いと解釈してよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

<別添資料3 施設設計要求書>

No	頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	質問事項	回答
24	資料3	工	1-3		諸室仕様表	工学部 1号館 3階の研究室について、諸室仕様表と改修後平面図 (案) [改訂] (工学部 1号館 3F)とで不整合な箇所があります。この場合、改修後平面図を正としてよろしいでしょうか？ [不整合箇所]諸室仕様表 改修後平面図 (案) 研究室 (4) 62㎡ 42㎡ 研究室 (5) 42㎡ 62㎡ 研究室 (6) 21㎡ 43㎡ 研究室 (7) 22㎡ 21㎡ 研究室 (8) 43㎡ 22㎡ 研究室 (9) 86㎡ 43㎡ 研究室 (10) 43㎡ 86㎡	ご理解のとおりです。
25	資料3	工	2-1		諸室仕様表	工学部 2号館 1階講義室(1)(2)(3)の天井高について、要求高は3.5mとありますが、現状1階の階高3.67mで、既存天井はフラット3.05mとなっていて、平均で3.5mを確保するのは困難です。工学部 2号館 1階講義室(1)(2)(3)の天井高については、3.00mとしてもよろしいでしょうか？	工学部 2号館 1階 (1)(2)(3)の天井高については、3.5mを3.0mに訂正して下さい。
26	資料3	理			諸室仕様表	特殊空調室 (理学部 1・2・3号館共通) 特殊空調室は室全体が特殊空調の対象ですか？それとも室の一部分を壁で区画してその部分のみ特殊空調ですか？ご指示ください。室全体が対象の場合、空調条件確保のために外壁側窓の内側に断熱パネルを設置し、窓ガラス面からの熱損失を防ぐ計画としてよろしいでしょうか？ただし、その場合窓のない室となってしまいます。また、廊下からの出入口は標準の引き戸扉ではなく、外開きの断熱扉 (ガラス窓なし)となります。逆に、室の一部分を壁で区画してそこだけを特殊空調室とする場合は、外壁窓を確保し、出入口扉も標準引き戸扉とすることも可能です。その場合は室の寸法をご指示ください。	部屋全体とします。ご理解のとおりパネルの設置としますが、室外から室内の安全を確認できる構造にして下さい。また、必要最小限の前室を設けて下さい。
27	資料3	理	1	2-1	諸室仕様表	機器分析室 (シールド室) C130は室全体がシールド室でしょうか？それとも一部を壁で区画してその部分のみシールド室とするのでしょうか？ご指示ください。全体的場合は外壁側窓の内側にシールド壁をたてて窓無しの室としてもよろしいでしょうか？ご指示ください。	影響がある部分のみのシールドとします。なお、資料 1 (機器分析室 C130室) 漏洩磁場影響図) をご参照ください。
28	資料3	理	1	2-3	諸室仕様表	実験室 (3) 低温室 用途欄に一部を低温室として使用と明記がありますが、その寸法が不明です。ご指示ください。	内寸法: 1,700×2,400×2,700H程度とします。
29	資料3	理	1	2-7	諸室仕様表	実験室 (2) C405、実験室 (4) C407 用途欄に X線を用いたと明記されていますが、室として X線防護仕様は必要ありませんか？必要な場合、外壁側の窓、廊下側扉のガラス窓はなしの仕様でもよろしいでしょうか？ご指示ください。	X線防護仕様は必要ありません。
30	資料3	理	3-1		諸室仕様表	X線分析室 D111 X線防護仕様必要でしょうか？その場合、外壁側窓なし、廊下側引き戸扉 (ガラス無し)の仕様でよろしいでしょうか？ご指示ください。	X線防護仕様は必要ありません。
31	資料4	工	2		備品計画表	工学部 2号館各階のロッカースペースについて、備品計画表には記載がありません。一部を他の用途に利用する提案を行ってもよろしいでしょうか？	提案可とします。
32	図面7				仮設計画図 (案)	工事車両が通過する構内道路の舗装の仕様 (耐荷重) をご指示ください。また、工事中、道路の沈下や不具合が発生した場合は、事業者の負担にて現状復旧すると考えてよろしいですか？ご指示ください。	前段について、舗装は標準で路盤 15 cm + 表層 (アスファルト) 5 cm の仕様となっております。後段の工事中の道路破損について、現状回復は事業者の負担といたします。